

# 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

【第一次交付限度額 540,788千円】  
【第二次交付限度額 1,735,624千円】



## I 感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発

17事業 135,107千円

(1) 新型コロナウイルス対応消防体制整備 5事業	<b>交付金72,511千円</b>
①救急車内でのウイルス拡散防止のためアイソレーターを購入	10,076千円
②空気呼吸器面体等の個人貸与に伴う面体・防火フードを購入	10,269千円
③多数の軽症患者を医療機関へ移送するための車両を更新	※繰越 50,231千円
④感染防止衣等を消毒する殺菌消毒用ロッカーを整備	935千円
⑤消防検査効率化を図る機器（カメラ、レーザー距離計等）を整備	1,000千円
(2) 感染拡大防止対策 12事業	<b>交付金62,596千円</b>
①給水管直圧化、非常用発電機改修、患者移送用車両購入やWeb会議への対応など、保健所の機能強化	38,000千円
②ポスター・チラシなどによる感染拡大防止の啓発活動	1,500千円
③感染症対応のモデルBCPを策定し、介護事業所等の計画策定を支援	5,650千円
④保護者との緊急連絡体制構築のため、児童クラブに通信機器等を整備	2,398千円
⑤医療系専門学校へのオンライン授業構築等への補助	10,000千円
⑥学校休業期間中の児童生徒との連絡経費	748千円
⑦フェリーターミナルへのサーマルカメラ等の購入費用を助成	1,300千円
⑧安心して利用できる公園として手洗い施設を整備（どんぐり・末広）	3,000千円

## II 雇用の維持と事業の継続 10事業 67,441千円（交付金59,030千円）

(1) 慰労金の支給 3事業	<b>交付金39,071千円</b>
感染への不安を感じながら、相当程度心身に負担がかかる中で業務に従事していただいたことに対して慰労金を支給	
①保育士等（5万円）685名 + 事務費141千円	34,391千円
②放課後児童クラブ支援員等（3万円）156名	4,680千円
(2) 放課後児童クラブ関係 4事業	<b>8,475千円（交付金3,239千円）</b>
①5月末利用者への減免対応分を充当	— (412千円)
②4、5月の臨時開設期間に係る支援員等の人件費	8,475千円(2,827千円)
(3) 学校給食関係 3事業	<b>19,895千円（交付金16,720千円）</b>
①2、3月の臨時休業期間中の発注済みの食材に係る支援金	4,235千円(1,060千円)
②給食安定供給基盤維持のため、学校給食事業者を支援等	2,660千円
③夏・冬休み登校日における給食提供に係る経費を助成	13,000千円

※標記臨時交付金事業のほか、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（国10/10）等を活用した事業（病院職員慰労金、児童センター感染防止策など）も実施

## III 次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復

11事業 841,090千円（交付金250,610千円）

(1) 新たな取組に対する支援等 5事業	<b>交付金84,500千円</b>
①青年会議所が自主的に行う市内活性化事業を支援	500千円
②新型コロナウイルスに対応した冬のイベント開催を支援	10,000千円
③正確なバス運行情報の提供、多言語によるバス利便性向上費用を助成	※先議 60,000千円
④テレワークを活用したモニターツアー等移住施策を実施	10,000千円
⑤漁業協同組合の種苗放流による資源維持・増大等の取組を支援	4,000千円
(2) 歴史文化資源等の整備・情報発信 5事業	<b>交付金56,590千円</b>
①訪日観光客にも対応した新たなプロモーションビデオを制作	※繰越 15,000千円
②研修・修学旅行の事前学習向けWebパンフレット等を制作	1,000千円
③総合博物館本館1階日本遺産「炭鉄港」展示施設の整備	19,000千円
④総合博物館本館1階プラネタリウム換気・投影システム等を更新	15,000千円
⑤日本遺産等と連動した観光資源活用策を小樽商科大学と共同研究	※繰越 6,590千円
(3) 消費喚起・事業継続支援 1事業	※先議 <b>700,000千円（交付金109,520千円）</b>
感染症拡大による経済への影響を緩和し市民の消費を喚起するため、プレミアム付商品券（額面1.3万円を1万円で購入）を5万冊発行。商品券の一部は市内本店企業等の店舗限定。コロナ対策基金、北海道のプレミアム付商品券発行支援事業も活用	

## IV 強靱な経済構造の構築 18事業 129,262千円（交付金120,722千円）

(1) GIGAスクール等学校関係 13事業	<b>102,212千円（交付金93,672千円）</b>
①1人1台端末に必要な通信確保に向け、高速インターネット回線を各校に新設	4,850千円
②学習環境整備の設計、使用マニュアルの作成等を行うホーターを配置	16,660千円(8,330千円)
③学びの保障における増員職員用の端末を整備	4,000千円
④端末の初期設定（環境設定、動作確認等）業務	30,000千円
⑤家庭学習用の貸し出し可能なモバイルWi-Fiルーターを整備	6,000千円
⑥遠隔学習に対応した環境（書画カメラ）を整備	4,702千円(4,492千円)
⑦校舎・屋内運動場への網戸等の新設及び大型扇風機を配備	※繰越 36,000千円
(2) ICT化関係 5事業	<b>交付金27,050千円</b>
①Web会議ができる環境や遠隔地からの庁内システム接続への対応等	13,000千円
②生活保護システムへの年金情報等を連携	1,300千円
③新しい生活様式に対応した、高齢者への生活支援アプリ開発を支援	4,700千円
④各学校等とのWeb会議ができる環境を教育委員会に整備	550千円
⑤ペーパーレスな議会運営のため、全議員に貸与するタブレット端末等を整備	7,500千円